

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価		
1 学校運営	① 教育目標・教育方針の教職員生徒、保護者への周知徹底 ② 教職員の資質の向上 ③ 保護者・地域への情報発信	評価指標 ①-1 わかりやすいとする保護者 ①-2 周知に取り組んでいる教職員 ② 資質向上に取り組んでいる教職員 ③ 学校は情報発信しているとする保護者	評価指標の達成度 ①-1 C ①-2 A ② A ③ B	総合評価 評価指標の達成度を平均 (評定) B	校舎内に掲示された生徒作品や生徒発案の学年スローガン、学年生活ルール、部活動の表彰記録等は、学校がめざす「生徒の主体的な力の育成」には非常に効果的である。コロナ禍の影響で、こういった取り組みを保護者に周知できないことが残念である。来年度、さらに学校開放の在り方を見直し、工夫することで、評価指標①-1の達成度が改善されることを期待したい。引き続き、時宜を得たメンター研修や普通のOJTの推進を図るなど、若手教員が育つ学校組織を築いていって欲しい。都合で学校行事等を参観できない保護者もいることから、アフターコロナのタイミングとなったとしても、タブレットを活用したオンデマンド配信は継続していただきたい。
		活動計画 ① PTA総会や学校行事等での教育目標・教育方針の説明・周知と学年の掲示板や各種たより、HPの活用 ② 昨年度の改善事項を取り入れた、教職員の資質向上への取組 ③ 一斉配信メールやHP更新など迅速な情報発信	活動計画の実施状況 ① 昨年度の経験を活かし、学校行事や各種説明会の実施方法の変更等（オンデマンド配信、規模縮小）で、実施。また、学年掲示板（学校・学年のスローガンの掲示）や各種たよりとHPを充実させ、周知と理解に努めた。 ②-1 時宜を得たメンター研修（年8回）を実施し、若手・ベテラン相互の教師力向上を図った。 ②-2 短時間のICT活用研修や講師先生をお招きしての授業力向上研修等を行い、資質向上を図った。 ③ 保護者へのお願いやお知らせ、感染対策や気象警報発表時等に一斉配信メールを活用したり、学校生活の様子をHPで発信に努めた。	(所見) 保護者が学校に参集できない経験から、タブレット端末を活用し、学校行事や様々な説明会等をオンデマンド配信を行った。メンター研修や普通のOJTにより、若手教職員の意識が向上した。保護者への情報発信は迅速であったが、今後は地域への情報発信を積極的に行う必要がある。	
2 学力向上・教科指導	① 学習意欲の向上と学習習慣の確立 ② 授業力向上の工夫・充実 ③ 家庭学習の定着	評価指標 ①-1 教職員が工夫して授業を進めていると考える生徒 ①-2 タブレット端末を有効に活用している生徒 ② 授業力の向上に努めている教職員 ③-1 家庭学習を行っている生徒 ③-2 家庭学習の時間増の工夫をしている教職員	評価指標の達成度 ①-1 A ①-2 C ② A ③-1 A ③-2 B	(評定) A (所見) 基礎基本の定着に向けて継続して小テストを実施した。また、毎時間の目標や振り返りを、継続して行うことが生徒の学力定着につながっているため、継続して取り組んで欲しい。各教科や各学年で授業研究を行い、生徒が積極的にタブレット端末を活用しての授業展開など、生徒が主体的に授業に取り組める工夫に努める。引き続き、年間3回の相互参観授業を行っている。	学力向上検討委員会で昨年度の課題を確認し、課題解決への具体的な実行プランを作成し、全教職員の共通理解のもと、学習指導に取り組んでいく。また、年間を通じて取り組むテーマを設定し、随時、見直し検討していく。各教科や各学年で授業研究を行い、生徒が積極的にタブレット端末を活用しての授業展開など、生徒が主体的に授業に取り組める工夫に努める。引き続き、年間3回の相互参観授業を行っている。
		活動計画 ①-1 学力向上検討委員会における学力向上実行プラン（目標やめあてと振り返り）の充実 ①-2 ICT（ミライードやmetamoji）の活用 ②-1 相互参観授業やメンター制度を活用し、授業技術の共有 ②-2 朝読書の推進 ③ 宿題等の工夫及びその点検	活動計画の実施状況 ①-1 各教科で毎時間、目標やめあてを掲げ、生徒の自己評価（振り返り）をR80やR70等で行った。 ①-2 ミライードやmetamojiなど、タブレットを積極的に活用し、効率的な学習指導を行った。また、ミライードを活用しての家庭学習の定着を図った。 ②-1 教科部会や相互参観授業、メンター研修等による授業技術の向上に取り組んだ。 ②-2 各学年で、朝読書を実施した。 ③ metamojiを活用した宿題等の工夫と点検、長期休業中の課題とそれに基づく確認テストを実施した。	(所見) 基礎基本の定着に向けて継続して小テストを実施した。また、毎時間の目標や振り返りを、継続して行うことが生徒の学力定着につながっているため、継続して取り組んで欲しい。各教科や各学年で授業研究を行い、生徒が積極的にタブレット端末を活用しての授業展開など、生徒が主体的に授業に取り組める工夫に努める。引き続き、年間3回の相互参観授業を行っている。	
3 生徒指導・交通指導	① 基本的な生活習慣の定着 ②-1 生徒理解と相談体制の充実 ②-2 いじめ防止対策 ③ 交通指導の充実	評価指標 ① 遅刻せずに登校する生徒 ②-1 教職員が適切に指導しているとする保護者 ②-2 自他ともに大切に指導に取り組む教職員 ②-3 いじめ問題等相談しやすいとする生徒 ③ 交通ルールを守っている生徒	評価指標の達成度 ① A ②-1 B ②-2 B ②-3 B ③ A	(評定) B (所見) 生徒指導主事を中心に、いじめや問題行動の未然防止、早期発見に取り組んだ。また、関連機関との連携や3Sの先生方から専門的な助言・指導をいただき、生徒指導に役立てることができた。1年生の交通安全教室や登下校の立哨指導を通して常時交通安全指導を行っている。	全教職員が情報を共有し、共通理解のもと、生徒たちの指導に努める。生徒指導主事を中心に、不登校やいじめ、問題行動の早期発見や未然防止ができるよう、生徒への声かけや観察、校内巡視、アンケート等を実施する。特に、増加傾向にある不登校生徒の減少に向けて、相談しやすい体制づくりに努める。1年生対象の交通安全教室を早期に実施し、安全教育担当や交通安全担当を中心に安全指導をする機会を積極的に設け、交通事故の未然防止に努める。
		活動計画 ① チャイム着席・校内巡視・時宜を得た声かけ ②-1 相談体制の確立(2S・3S) ②-2 生徒指導委員会を活かした校内体制の確立 ③ 計画的な安全教育への取り組み	活動計画の実施状況 ① 朝と休み時間の巡視や時宜を得た生徒への声かけ等を実施した。 ②-1 3S(SC・SSW・SL)を中心とした専門的な相談と随時家庭連絡を実施した。また、適応指導教室（すだち学級）と連携を図った。 ②-2 学校いじめ防止基本方針に基づき、生徒指導委員会において年5回アンケート調査を実施し、未然防止に努めた。 ③ 交通安全教室と登下校時の立哨指導を適宜実施した。	(所見) 生徒や保護者が不安や悩みを相談しやすい体制づくりをお願いしたい。校区も広く、狭い道、交通量の多い道から通学している。交通事故を起こさないよう、登下校時の立哨指導や交通安全指導をお願いしたい。中学生全般、SNSのトラブルが急増している状況がある。保護者・生徒を対象に、SNSに関する講演・講習会を開いて欲しい。	

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善策	
		評価指標と活動計画	評価			
4 保健指導・給食指導 ・環境美化	① 保健指導の徹底 ② 給食指導の徹底 ③ 環境美化の推進	評価指標 ①-1 健康に気をつけている生徒 ①-2 健康に生活できるよう指導する教職員 ②-1 食生活に関心を持っている生徒 ②-2 食生活を見直すよう指導する教職員 ③-1 清掃活動に積極的な生徒 ③-2 清掃指導ができていていると考える教職員	評価指標の達成度 ①-1 B ①-2 A ②-1 B ②-2 B ③-1 A ③-2 A	(評定) A (所見) 全教職員で感染症対策の周知徹底に努めた。また、非常時に備え、緊急時対応シミュレーション研修を行った。「保健だより」「食育だより」を発行し生徒だけでなく保護者にも啓発を行った。全校生徒・全教職員が校舎内外の美しい環境づくりに努めた。	コロナをはじめとする感染症対策に、心より敬意を表したい。評価指標の達成度もAとBで、教職員と生徒が一体となり、取り組んだ成果だと思う。朝の清掃活動が生徒主体で行われ、その輪が大きくなり、学校がさらに美しい環境になるよう、引き続き、取り組んで欲しい。 新型コロナウイルス感染症が「5類」相当になって、基本的な感染対策をお願いしたい。	新型コロナウイルス感染症が「5類」移行する方針だが、引き続き、基本的な感染対策に努める。 すべての教育活動において、SDGsを念頭におき、継続可能な実践を目指していく。 栄養教諭や養護教諭との連携を密にし、自己の心身の健康について考える学校行事や授業を継続する。 細かいところにも目を配り、全校生徒・全教職員が校舎内外の美しい環境づくりに努めていく。
		活動計画 ① 保健指導計画の立案と学校保健委員会の開催 ② 給食指導計画の立案と給食時間の指導 ③ 清掃計画の立案と清掃指導	活動計画の実施状況 ① 毎月の「保健だより」発行と学校保健委員会代わり、教職員の緊急時対応シミュレーション研修を実施。 ② 全教職員で感染症予防を中心とした給食時間の指導と「食育タイム」の充実を図った。 ③ 全教職員による清掃指導を実施した。			
5 図書館教育・キャリア教育・生徒会活動	① 図書館の積極的な活用 ② 進路指導の充実 ③ 生徒会活動の活性化	評価指標 ①-1 授業で図書室を活用する教職員 ①-2 年間10冊以上本を読む生徒 ②-1 将来の職業に関心がある生徒 ②-2 継続的な進路指導をしている教職員 ③-1 生徒会行事等に積極的な生徒 ③-2 専門委員会が充実していると考えられる教職員	評価指標の達成度 ①-1 C ①-2 C ②-1 B ②-2 A ③-1 B ③-2 B	総合評定 (評定) B (所見) 図書館教育担当者の工夫により、沢山の生徒が利用している。生徒会役員を中心に、難民の子もたらに服を届けることを目的として「届けよう、服のプロジェクト」を企画し、主体的な取組を始めている。また、専門委員会でも、自転車置き場のクモの集取りを昼休みに行うなど自主的な活動が見られた。	生徒一人一台、タブレットが配布され、調べ学習等は図書室を利用しない現状があるので、これからの図書館運営は工夫が必要である。紙で作られた本には、においがあふれる音、手の動きがある。これからは、さらにデジタル化が進むことが予想される。だからこそ、両方をしっかり体験させ、将来、自分で考えをもつて選択できる生徒になって欲しい。 読書・活字離れが言われて久しいように思う。教職員の働きかけにより、本を読む機会や文字を書く機会の工夫を願っている。	工夫を凝らし、図書室の使用の利便性を周知したり、外部人材を活用したりするなど、図書室の活用や生徒の読書の活性化を図る。 国語科の時間を活用し、ビブリオバトルやポップ作り等、本に親しむ機会を増やす。また、図書委員による本の案内など、教職員や生徒と共に、読書活動を推進していく。 生徒会役員が校内のリーダー的立場に成長しているため、今後は地域のリーダー的立場に成長するよう、地域の行事等に積極的に参加するなど、活動の活性化を目指す。
		評価指標 ① 「図書室カレンダー」の発行とお薦めの本の紹介 ② 3年間を見通した進路指導計画の立案とキャリア教育の立案・実施 ③-1 生徒会活動の見直し ③-2 「あいさつ運動」の実施や「意見箱」の設置	評価指標の達成度 ① 図書館教育担当者が中心となって、多くの生徒が書物を借りられるように工夫し、図書室運営を行った。 ② 発達段階に応じた指導計画にそって実施 ③-1 月1回専門委員会が自主的な活動を実施した。 ③-2 生徒会活動の本部役員が毎日のあいさつ運動や意見箱を設置するなどリーダー的立場で活動できた。			
6 人権教育・道徳教育 ・特別支援教育	① 人権教育の推進 ② 道徳教育の推進 ③ 特別支援教育の推進	評価指標 ①-1 学校に来るのが楽しい生徒 ①-2 温かい言葉がけをしている教員 ② 私には良いところがあると考えられる生徒 ③-1 友だちの良さを見つけている生徒 ③-2 支援の必要な生徒を把握している教員	評価指標の達成度 ①-1 B ①-2 A ② B ③-1 A ③-2 A	(評定) A (所見) 自己肯定感をいっそう高められるよう、教職員が生徒に自信を持たせたり、自分の良さに気づいたりする活動を継続的に取り入れている。	自己を肯定する力、人や物に対する思いやり、人の痛みがわかる、レジリエンス等は大切である。いろいろな方法で取り組んでいるようなので、次年度も継続して欲しい。 一人一人の長所を伸ばし、よりよい方向に導いていく教育は、時間を要するが、大切なので時間をかけ、実践して欲しい。 来年度も各学年の掲示物による人権啓発や道徳心等を育てるような取り組みをお願いしたい。	自尊感情や自己肯定感を高められるよう、生徒に自信を持たせたり、自分のよさに気づかせたりする活動を各教科や部活動など、教育活動の様々な場面で自尊感情や自己肯定感を高められる工夫を継続的に行っていく。 人権教育や道徳教育を充実させるためにも教職員が積極的に研修を実施し、生徒個々のニーズに合わせた指導ができるよう努める。 生徒が安心して登校できるように、全教職員が挨拶やあたたかい声かけを
		活動計画 ① 人権教育主事を中心に人権教育の実践 ② 道徳教育推進教師を中心に活動計画を立案 ③ 入学前を含めて年間4～5回の教育相談を実施して、特別な支援を必要とする生徒のニーズに応じた支援に努める。	活動計画の実施状況 ① 人権教育主事を中心に活動計画に基づいて活動した。また、講師先生をお招きしての研修・講話、人権コンサート等を実施した。 ② 道徳教育推進教師を中心に学年の活動計画に基づいて校内研修（本校職員を講師として）を実施した。 ③ 校区内小学校支援学級との連携を強化し、参観授業ならびに個別のニーズや支援についての面談を実施した。			